





新聞聯合

寫眞ニュース

第二號

◎慈惠會の光榮

↑皇后様三年振の行啓

(東京) 九年五月廿四日

皇后陛下には廿四日午後二時二十分宮城御出門、三年振りで芝愛宕町の東京慈惠會第二十七回總會に行啓、會長徳川公初め役員の奉迎を受けさせられ便殿にて御先着の各宮妃殿下と御對面、式場に成らせられ終つて院内參考室を御巡覽御幾嫌麗はしく還啓遊ばされた

寫眞は

↑行啓の皇后陛下







新聞聯合

寫眞ニュース

第一號

◎帝國水難救濟總會

(東京) 九年五月廿五日

帝國水難救濟會第四十二回通常總會は廿五日  
午前九時三十分より兩國國技館に於いて開會  
總裁伏見宮殿下台臨。長くも令旨を賜ひ。會  
長答辭。遞信。海軍。内務各相の祝辭あり終  
つて余興の相撲に移つた

寫眞は

一、總裁宮の令旨







◎杉村駐伊大使親任式

(東京) 九年五月廿五日

天皇陛下には二十五日午前九時三十分宮中鳳凰の間に出御、齋藤首相侍立の上駐伊大使の親任式を行はせられ杉村公使に對し親任の勅語を賜ひ首相より官記を授け陛下入御遊ばされた

寫眞は

一、東御車寄にて







①軍艦旗獻納式

(九年五月二十六日)

浪高き大洋上に帝國海軍の威容と海國日本の  
意氣を象徴する軍艦旗獻納式は二十六日午後  
一時より日比谷新音樂堂に開催、海洋少年團  
ボーイスカウト、國防婦人會、女學生、青年  
團、在米軍人會等約三千人參集盛會を極めた  
寫眞は

日比谷にて







◎軍人會館へ海戦圖

大角海相が寄贈

(東京) 九年五月廿六日

大角海相が九段の軍人會館の大ホールを飾るため海戦畫家古島松之助畫伯に依頼しその製作を急がせてゐた大油繪「日本海々戦の圖」がこの程出來した。この繪は來る廿七日の海軍記念日に海軍省から會館へ贈られる

寫真は

一、海軍省にて







聯合寫眞 ニューズ 第三號 九年五月廿七日

◎ 小意氣な豆軍艦來る

|| 小さい乍らフランスの誇り

とても可愛らしい豆軍艦が意氣な水兵さんを  
満載して廿六日午後三時上海から鹿兒島、神  
乞を経て横濱に入港した。これはフランス極  
東艦隊で揚子江警備に當つてゐるタニール號  
(八百噸)で長さ僅か二百四十呎だが立派な  
六吋砲二門、高しや砲一門を備へてゐる。艦  
長グラジニア少佐以下士官七名、下士百二名  
乗組み、又月四日迄碇泊するが來港の目的は乗  
組員慰安と日佛親善にあり横濱や東京を小さ  
い乍らフランス色で塗り潰さうと意氣込ん  
である。







聯合 寫真ニユース 第二號 五月廿七日

◎輝く海軍記念日

1 大元帥陛下行幸

第二十九回海軍記念日祝賀會は潮風薫る築地の海軍經理學校に於て  
畏くも天皇陛下の行幸を仰ぎ海戦をしのんで盛大に行はれた。此の  
日天皇陛下には海軍様式御通常禮装を召され本庄武官長御陪乘湯島  
宮相、鈴木侍從長以下側近等供奉申上げ略式自動車鹵簿にて午前  
一時卅五分宮城御出門會場に着御、秩父宮殿下初め各皇族方にも  
參會正午海戰料理に當時をしのばせ給ひ陳列所に成らせられ大角  
長等の御案内にて我が海軍最新の精銳軍需品飛行機や潜水艇の附屬  
品、新研究の生糸軍服、落下傘等等其の他無洗米、無砂搗麥や罐詰  
類等の食糧品等を御熱心に御覽、繼いて同五十分餘興御觀覽所に出  
御、東京大相撲を天覽あらせられたが殊の外御興深く拜され四時  
員奉送中を天機麗はしく還幸あらせられた

（寫真）天覽中大元帥陛下







◎秩父宮賢所に御奉告

一 隨員一同も賜謁參拜

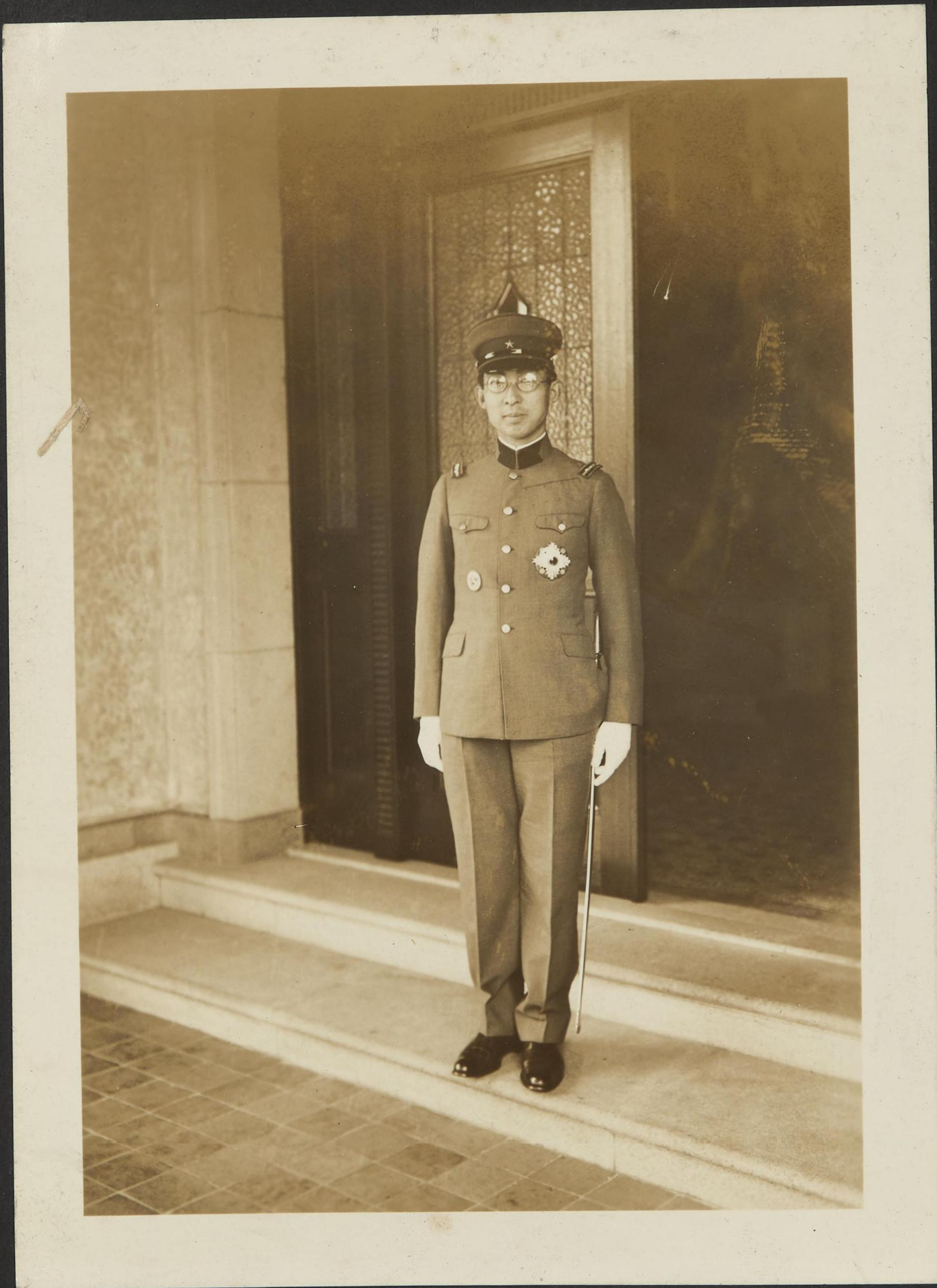
(東京) 九年五月廿八日 滿洲國帝政慶祝聖  
上御名代秩父宮殿下には廿八日午前十一時宮  
中賢所に御參拜六月二日東京御出發御渡滿の  
旨を御奉告遊ばされたが一方林式部長官以下  
十四名の隨員はこれに先立ち同十時宮中に參  
内鳳凰の間に於て天皇陛下に拜謁仰付られ終  
つて一同並に隨行の屬官三名は賢所を參拜し  
た。なほ午後六時半から宮中御内儀に於て御  
名代宮御送別の御内宴を催され兩陛下出御。  
御名代宮同妃兩殿下の外高松宮同妃兩殿下に  
も御臨席あらせられる筈

寫眞は

一、參内の秩父御名代宮 (於秩父宮邸)

一、參内の隨員一同 (於東御車寄)







◎元帥の病氣平癒祈願

(東京) 九年五月廿八日

東郷邸と同一町内にある總町上六番町小學校生徒は廿九日靖國神社に參拜、元帥の病氣平癒を祈願した

寫眞は

- 一、靖國神社に祈願の上六小學生
- 一、元帥邸へ見舞ひの米大使 (左は加藤寛治大將)

一、同見舞ひの上六幼稚園園児

一、事務主任長岡善造







◎東郷元帥突如憂慮の兆

(東京) 九年五月廿八日

我等の元帥伯爵東郷平八郎氏は宿痾漸く重り併せて個疾の喉頭痛のため突如憂慮すべき状態に陥つた

寫眞は

一 最近の元帥

一 見舞の高官 (廣田外相、安保大將)

一 小笠原長生子の容態發表







◎東郷元帥薨去

(東京) 九年五月三十日

侯爵元帥東郷平八郎氏三十日午前七時遂に薨  
去せらる

寫眞は

一、弔旗を掲げた東郷邸前

一、勅使参邸

一、少年東郷會の弔辭

一、東郷元帥の令孫達 (前列向つて左から)

信男(一〇) 忠二(九) 百子(一〇)

久子(一一) 忠男(一四) (後列)

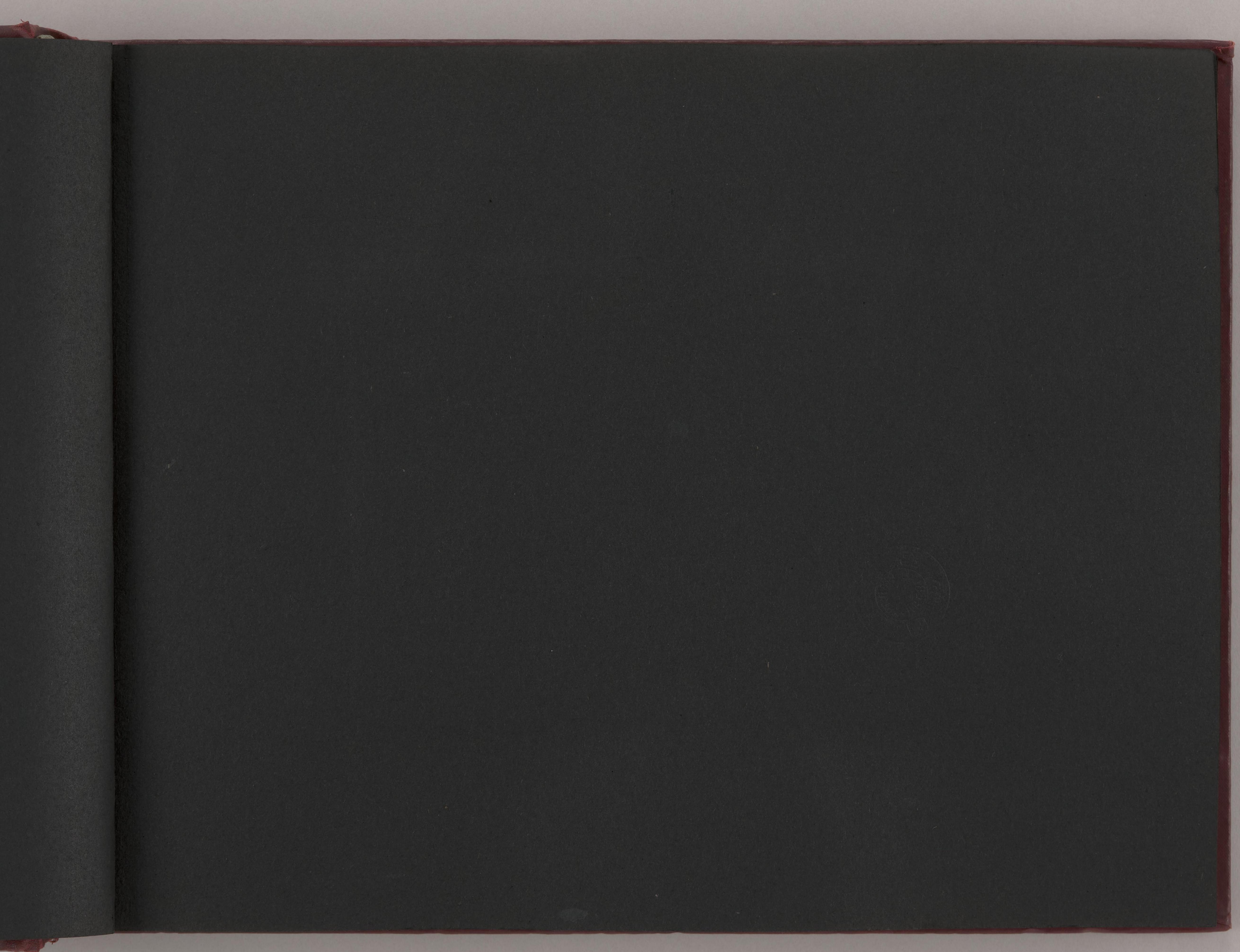
一(一六) 良子(一八) 健三(四) 良

一(一四) 一雄(一六) の諸君





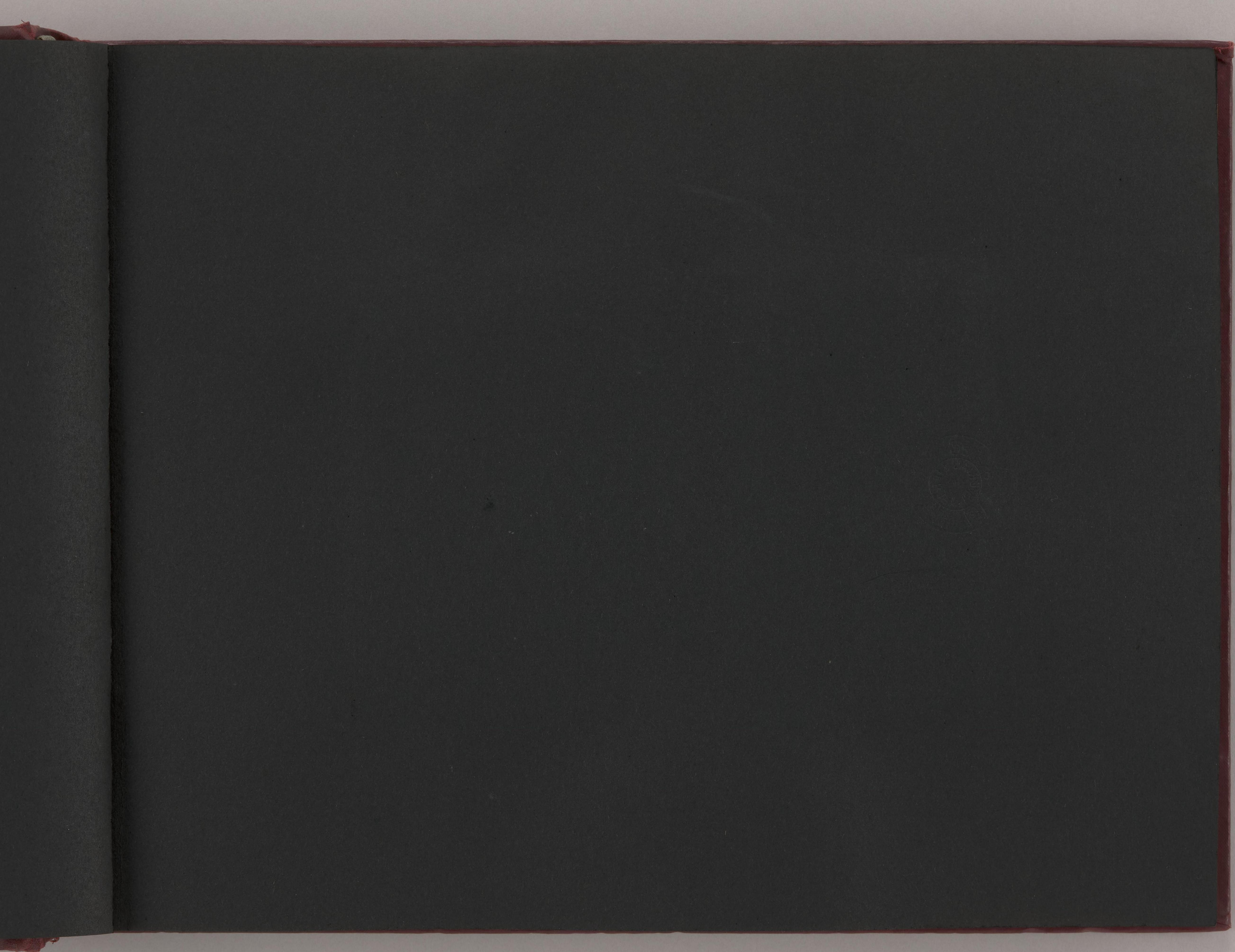


















◎凱旋兩將軍軍狀奏上

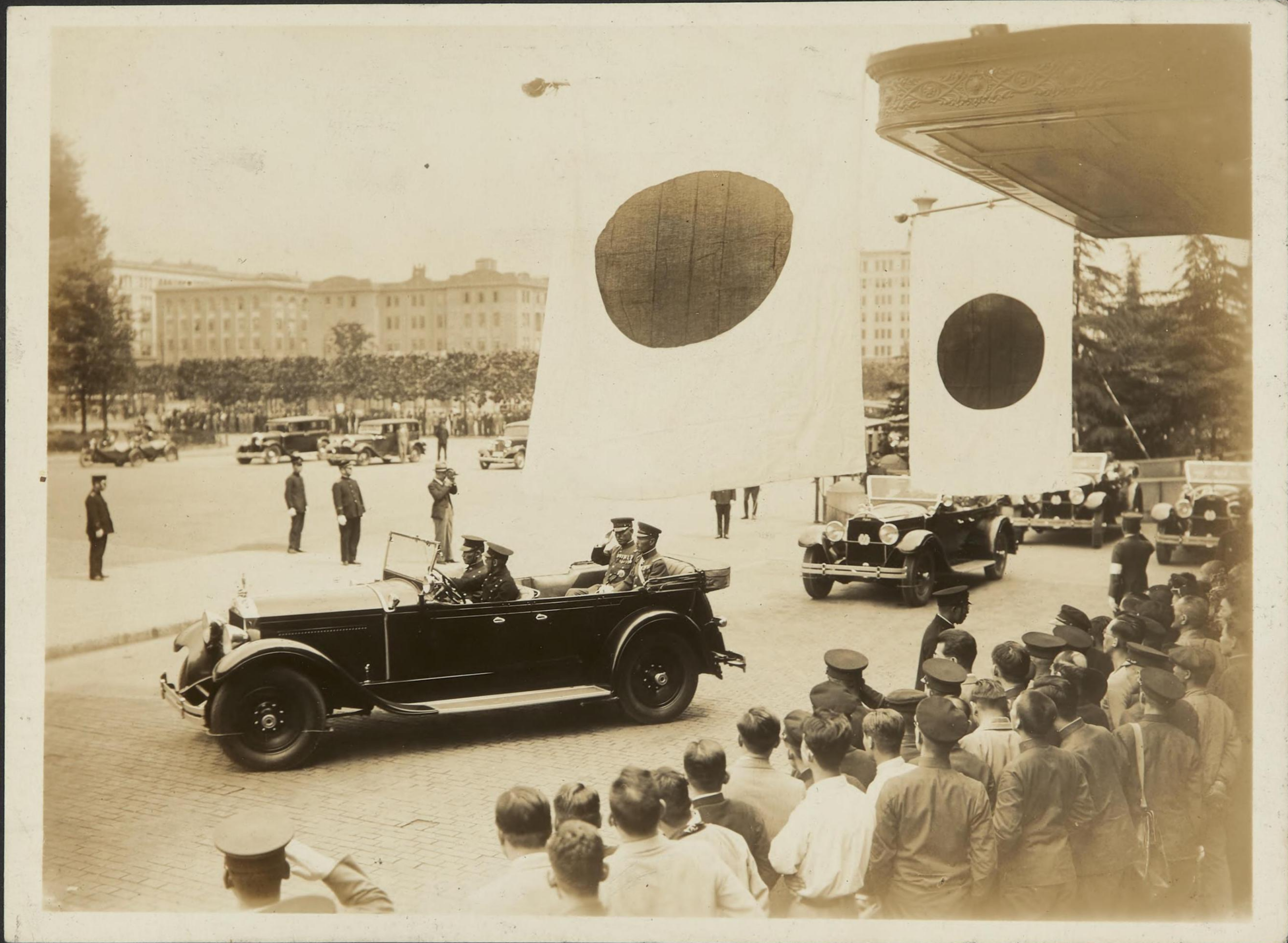
(東京) 九年五月卅一日

上海派遣に次いで北滿の曠野に轉戦二ケ年に亘つて匪賊討伐に輝やく武勳を樹て、歸還した第十四師團長畑俊六中將並に北滿に出動したたる偉勳をあらはした第十師團長廣瀨壽助中將は軍狀奏上の爲め幕僚を從へ卅一日午前九時十二分東京驛着晴れの都入りをした。兩將軍及び幕僚は宮内省差廻しの自動車四臺に分乘二重橋正門から參内天皇陛下に拜謁仰付られた

寫眞は

- 一、ホームに於ける兩將軍と幕僚
- 一、驛頭の兩將軍







◎ベルギー特使來朝

〔東京〕一九〇九年五月三十一日

ベルギー新帝レオポルド三世陛下より我が皇室に對し御即位披露の使命を帯びて派遣された同國特派大使ウイリアム・タイス氏夫人令嬢一行九名は初夏の晴れやかな三十一日横濱に入港帝室貴賓の御待遇を賜り同港發特別列車で午後三時東京驛着晴れの都入りをして爲し宿舎帝國ホテルに入つた

寫眞は

- 一、龍出丸船上のタイス氏夫人令嬢
- 一、東京驛にて一〇印夫人、×印タイス氏
- 印廣田外相、△印湯淺宮相

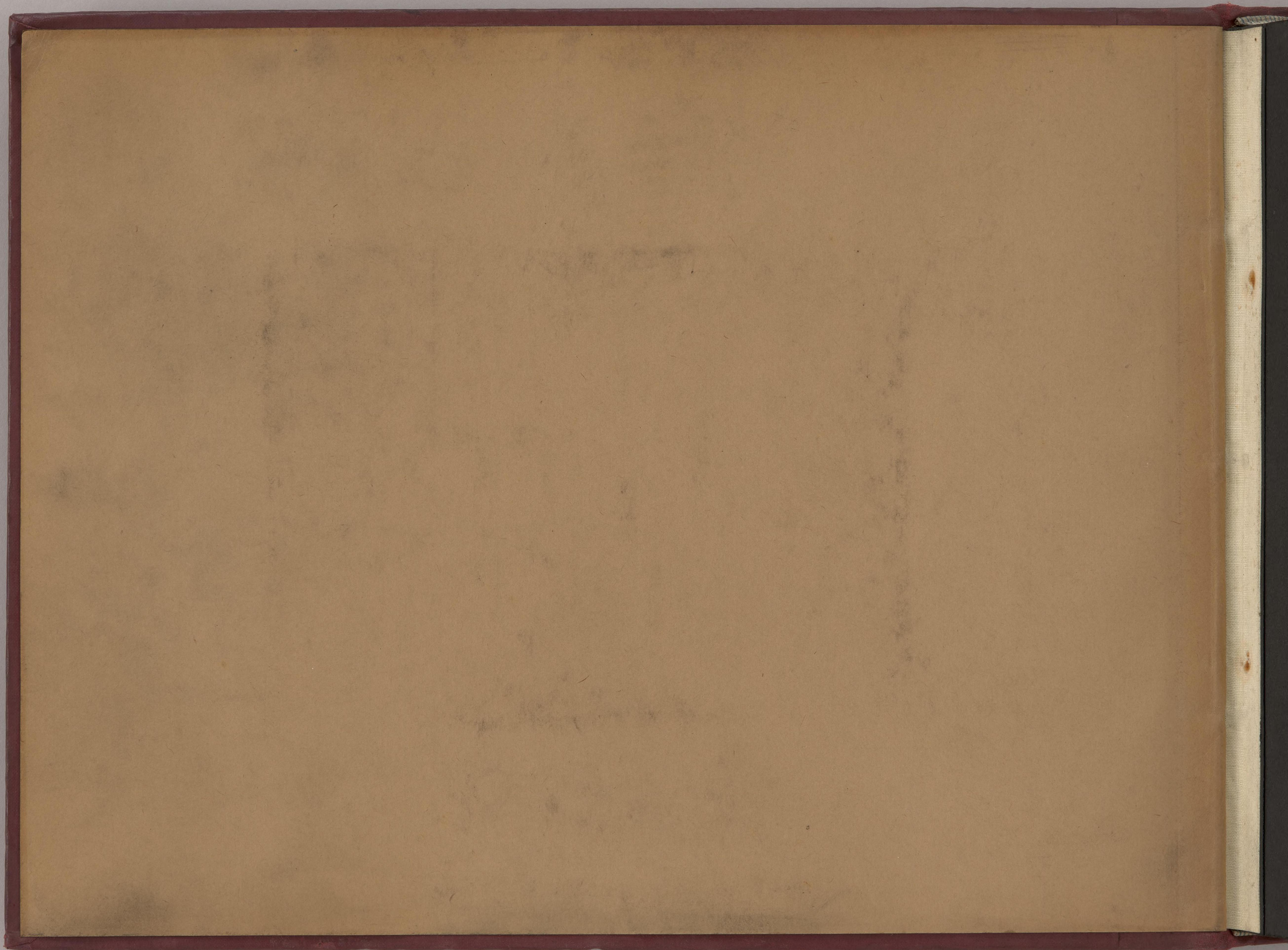




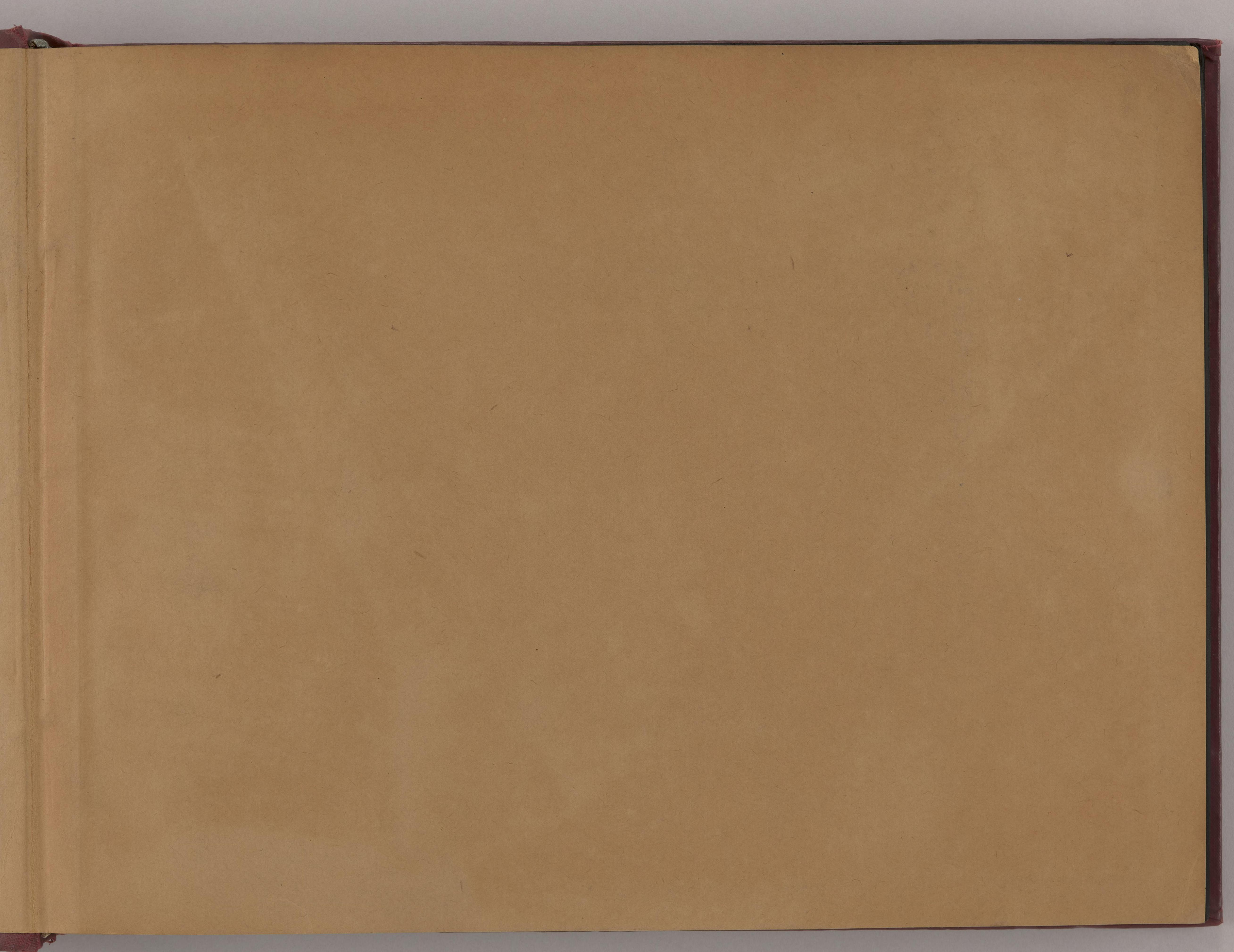














雜 53  
52





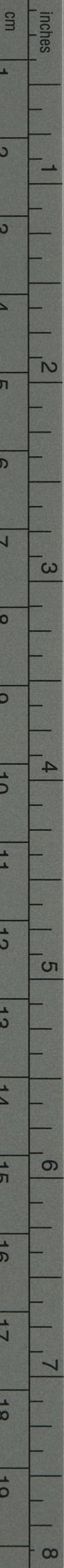


# Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak

**A** 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19



# Kodak Color Control Patches

© Kodak, 2007 TM: Kodak

